

# C N関連補助金②-経産省 省エネ補助金 (SII) R6年度予算：31億円、R5補正予算：1,160億円

公募期間：R6/3/15～R6/9/30 (R6予算額：31億円)

## 中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業費補助金

### ①省エネクイック診断 (補助率9/10、上限：交付申請額)

省エネの専門家※1が企業を訪問し、エネルギー管理状況の診断を実施。エネルギーコスト削減を目的に、設備・機器の運用改善や設備更新を提案。

※1：省エネ診断を実施している民間団体の例 (登録診断機関)

・全国の登録診断機関は計96機関(2024年6月6日時点)

・内、四国内に拠点を有するのは4機関

(宮地電機(株)、(株)ミドリノハシ、三浦工業(株)、四国電力(株))

「中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業費補助金」の実施後、「省エネ補助金 I：工場・事業場型、II：電化・脱炭素燃転型、III：設備単位型」を応募した場合、「追加評価」の適用対象となります

### <省エネクイック診断プラン「まるっとプラン」の事例紹介>

例) 空調設備+ボイラ+デマンドを希望した場合

総額 : ¥150,000×1プラン = ¥150,000

診断対象者の負担額 : ¥150,000×1割 = ¥15,000

補助対象経費 : ¥150,000×9割 = ¥135,000

### ②省エネ最適化診断

約1日の診断で、診断機関※2が工場・ビル等全体の包括的な診断を実施。希望があれば「IoT診断」でデータに基づく詳細な診断も可能。

・A診断 (専門家1名) : 10,670円、・B診断 (専門家2名) : 16,940円

・大規模診断 (専門家2名) : 23,760円

※2：一般財団法人省エネルギーセンター

### ③省エネお助け隊

省エネ診断に加え、診断後の設備導入、金融機関の紹介、自治体支援策の紹介等まで一貫して支援。省エネに限らず、経営の専門家も所属するため、様々な相談に対応可能。

公募期間：R6/5/27～R6/7/1 (R5補正予算額：1,160億円)

## 省エネ補助金

### I：工場・事業場型 (補助率1/2中小企業、1/3大企業、上限15億円)

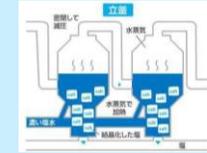
生産ラインの更新等、工場・事業所全体で大幅な省エネを図る

事例) 製塩業(海水)の平釜を廃熱利用の連結立釜に更新することで省エネ▲37.1%

【平釜】



【立釜】 ※複数の釜を連結して排熱再利用



### II：電化・脱炭素燃転型 (補助率1/2、上限3億円 電化の場合は上限5億円)

電化や、より低炭素な燃料への転換を伴う機器への更新を補助

事例) コークス使用のキュポラ式から誘導加熱方式(電化)に転換

<参考> 温度帯別の支援事例

【低温域】 温水ボイラ(石炭・重油) ⇒ ヒートポンプ(電気)

【中温域】 蒸気ボイラ(石炭・重油) ⇒ 蒸気ボイラ(都市ガス・LPG)

【高温域】 キュポラ式(コークス) ⇒ 誘導加熱式(電気)

【キュポラ式】※コークスを使用



【誘導加熱式】※電気を使用



### III：設備単位型 (補助率1/3、上限1億円)

SIIが予め定めたエネルギー消費効率等の基準を満たし、補助対象設備として登録及び公表した指定設備へ更新する事業

【ユーティリティ設備】 ①高効率空調、②産業ヒートポンプ、③業務用給湯器、④高性能ボイラ、⑤高効率CGS、⑥低炭素工業炉、⑦変圧器、⑧冷凍冷蔵設備、⑨産業用モータ、⑩制御機能付きLED照明器具

【生産設備】 ⑪工作機械、⑫プラスチック加工機械、⑬プレス機械、⑭印刷機械、⑮ダイカストマシン